

大
久思心書付事類上履

武藏國多摩郡小川新田

新入 彦市

一 尚村續東之系武義村入倉村之系東之系本樓南之限
南之系川所之水降之小山山嶺之系乃限之小川新田村
境之系乃其地凡百六拾町廿六段乃場所用役奉
類之作

一 右陽水之系 乃村之系乃其地凡百六拾町廿六段乃場所用役奉
類之作

一 右陽水之系 乃村之系乃其地凡百六拾町廿六段乃場所用役奉
類之作

四方之系七里之系乃村之系乃其地凡百六拾町廿六段乃場所用役奉
類之作



—現小平市域と近世の村—



赤色で囲まれた場所が、今回の文書で開発を願出たとされる「小川新田」。この時はまだ、小平市域に小川村と鈴木新田しかなく、小川新田が開発されたのち、野中新田、大沼田新田、廻り田新田が開発される。

用度仕所傳書 此より後迄用度仕所傳書
 信所下右所傳書所用未解系く用さるる事以外
 悉く武義所村より弟陽陽所 公事及び時使
 之信所右陽所用度お付す以外分親市より集
 見丸市より物老と付系より所新田度より集
 高 信所より集より集より集より集より集
 右所細所傳書と云ふ事と云ふ事と云ふ事

享保七年寅九月

小川新田
 野中
 鈴木